

三浦JC
[神奈川]

**新鮮で活気あふれる空気に触れ
まちへの情熱を高める機会に**

1962年、認証番号231番と

して神奈川県内では6番目に誕生したわがLOM、三浦JCの活動エリアは、東京湾、相模湾、太平洋の三方を海に囲まれた三浦半島に位置します。技術の進歩とともに全国・世界へ流通する前から、マグロの水揚げは全国有数の港町です。また、大根・キャベツ・スイカなど豊かな土壌の恵みも豊富な一次産業

のまちです。

シニア会の活動自体は総会の開催・現役と合同の賀詞交歓会、親睦交流の合同例会といった現役との接点を保つ事業が日常の主たる活動です。

第46代理事長を務める加藤隆史理事長はスローガン「進化」→新たなステージに向かって」を掲げています。



奥山浩司シニア会会長のあいさつ



加藤隆史理事長(右)と奥山会長

「50周年という大きな節目を目指すことはもちろんですが、昨年21年ぶりに3人目のブロック会長輩出が叶いました。その経験をさらに運動能力として高めていき、今まで以上に地域社会に必要とされるJCにしたいという思いも込めております。それがわれわれにできる、お世話になった先輩方や多くの方々への恩返しだと思っています」(加藤理事長)。

シニア会としてもJCあってこそ自分自身だと思っており、今年のように節目の年は特に、現役のころを懐かしむとともに、新鮮で活気あふれるJCの空気に触れ、明日への活力とわがまちへの情熱をさらに高めるよい機会とも捉えていますので、精一杯の協力をいたします。

全盛のころに比べ、少子高齢化、人口減少、マグロ漁船の減船など、決してよいことばかりとはいえない



賀詞交歓会にて

まちの現状ですが、三浦JCが掲げる「郷土愛あふれる潮響くまちを育む」ビジョンのごとく、まちへの思いは熱く、絆の深い人間味溢れるわがまち三浦です。JCの活力が地域を活性化させ、明るい豊かな社会への原動力になると確信しています。

三浦JCシニア会会長 奥山浩司
日本JCシニアクラブ
神奈川ブロック担当幹事 洞外文敬